

図書館職員が

## 読み聞かせに お薦め本を 紹介

私たちがおススメ本を紹介します



### 「びよーん」

まつおか たつひで/作・  
絵 ポプラ社

ページをめくるたび「びよーん」  
にあわせてはねてみたり手をあげ  
てみたりと、赤ちゃんも一緒に楽し  
めます。

(乳児向け)



(3歳～5歳児向け)

### 「ねずみくんのチョコッキ」 (ねずみくんシリーズより)

なかえ よしを/作 上野  
紀子/絵 ポプラ社

ねずみくんの赤いチョコッキは、お  
母さんが編んでくれたものです。  
ねずみくんの大切なチョコッキはど  
うなっちゃうのかな。



(3歳～5歳児向け)

### 「おまえうまそうだな」 (ティラノサウルスシリーズより)

宮西 達也/作・絵  
ポプラ社

アンキロサウルスの赤ちゃんを食  
べようとしたティラノサウルスが、  
お父さんと勘違いされるところか  
ら物語が始まります。



(3歳～5歳児向け)

### 「あくたれラルフ」 (あくたれラルフシリーズより)

ジャック・ガントス/作  
ニコール・ルーベル/絵  
いしい ももこ/訳  
童話館出版

ラルフはセイラの飼い猫で、いつ  
も悪さばかりしてみんなを困らせ  
ています。サーカスを見に行った  
とき、あまりにもひどい態度に怒っ  
たお父さんは、ラルフを置き去り  
にして帰ってしまいます…。

3歳～5歳児向けの「親子でふれあうえほん」の冊子を用意しています。お気軽に職員に声を掛けてください。

図書館のキッズルームで職員や地域のボランティアの皆さんによる「おはなし会」が行われます。  
「はじまるよ。はじまるよ。はじまるよ」が繰り返され、子どもたちはソワソワと合せておはなし会がスタートします。  
まずは手遊びをして子どもたちの雰囲気を和ませてから、お待ちかねの絵本が登場します。「今日の絵本はなにかな」と子どもたちはソワソワ。そして、「次のページはどうなるのかな」とワクワクし、目を輝かせて聞いている様子が毎回見られます。

小さい子どもがいるお母さん・お父さん、図書館を利用していただけます。「図書館はずっと静かにして欲しい」といえないから、子どもが騒いで周りに迷惑をかけそうだから」。そんな理由で遠慮していませんか。かなみ知恵の和館1階には、こども図書館があります。  
こども図書館の一番の魅力は、子育て交流センターと同じフロアにあることです。  
「子育て交流センターで遊んだ帰りに図書館へ寄って、子どもと一緒に本を選んで借りる」。そして、「昼

寝や夜寝るときに一緒に読む」。「選んだ本をその場で読み聞かせること」ができる。「子どもと一緒に本を選んだり、本の内容の話をしたりすることで自然とコミュニケーションが深まるでしょう。  
また、書店では出会えない本も図書館にはあります。探している本が無い場合も、購入したり、他の図書館から取り寄せたりして、できる限りご要望にお応えしています(リクエストサービス)。  
図書館が身近にあるということを感じてもらい、図書館を子育てスポットの一つとして活用してみたいかがでしょうか。



## 本を使ってスキンシップ

乳幼児期は、心や言葉が育つ非常に大切な時期です。この大切な時期に本を読み聞かせることでさまざまな効果があるとされています。本を通してスキンシップによって、「子どもの気持ちを安心させ、愛されているという充実感を与える」。読み聞かせの時間を取り、愛情が伝わり、親子の関係が良好になる。とも言われています。  
また、年齢や月齢数が増すことにより、興味を持つ内容や関心を示す箇所が変化し、子どもの成長を感じることができま

## 絵本を開く大切さ ブックスタート

町では、赤ちゃんがゆつくり向き合っている絵本を開くことの大切さを伝え、楽しく心ふれあう時間を持つきっかけを作るブックスタート事業を行っています。  
ブックスタート事業とは、町内の全ての赤ちゃんを保護者に、絵本を楽しむ時間の大切さを伝えながら絵本を手渡す運動で、毎月の7か月健康相談と同日に行い、本の魅力を伝える機会となっています。

## 親子で楽しむ図書館 本との出会い

子育て交流センターと同じフロアの図書館1階には、こども図書館があります。大型絵本や紙芝居など見たことがないお気に入りの1冊と出会えるでしょう。



子どもたちが一喜一憂する「おはなし会」